

# 原発事故による甲状腺被ばくの 真相を明らかにする会 2021年度総会議案

2021年6月6日（日） 13:30～14:00  
オンライン開催

## ● 総会プログラム

- ▶ 13:30 議長選出
- ▶ 明らかにする会 宗川代表あいさつ
- ▶ 13:35 議案提案
  - ・ 2020年度活動報告・2021年度活動方針（案）
  - ・ 2020年度決算・2021年度予算（案）
  - ・ 2021年度役員体制（案）
- ▶ 13:50 質疑・討論
- ▶ 13:55 採決

\*代表あいさつ、議案提案中は、みなさまのマイクをミュート、カメラをオフにさせていただきます。

\*質問・意見のある方は、チャット又はZoom画面の「手を挙げる」を使って意思表示してください。議長が指名しますので、マイクのミュートを解除して発言してください。

## ●活動報告 ( 期間 : 2019年12月13日 ~ 2020年 3月31日 )

- 1 講演会・学習会、要請書・公開質問状等の提出
  - ▶ 2020年2月 5日 (水) 福島県「県民健康調査」検討委員会、同「甲状腺検査評価部会」、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターへ要請書発送  
<http://fukushimakayoto.namaste.jp/akiraka/pdf/yousei.pdf>
  - ▶ 2020年5月 6日 (水・振) 京都・市民放射能測定所開設8周年 (オンライン) 集会  
 講演 : 「徹底検証 福島甲状腺がんは本当に原発事故と無関係か」  
 講師 : 宗川 吉汪代表  
 \* 講演内容は、京都測定所がパンフレットにまとめています。近日中に発売します。  
 京都測定所ウェブサイト <http://nukecheck.namaste.jp/index.html>
  - ▶ 2020年10月24日 (土) 福島県立医大 大平論文に対する公開質問状オンライン学習会  
<http://fukushimakayoto.namaste.jp/akiraka/event/20201024oohirahihan.html>  
 講師 : 加藤聡子さん、大倉弘之さん

- ▶ 2020年11月 1日 (日) 大平教授らに対する公開質問状を共同で提出  
 (最終的に81個人・14団体が賛同)  
<http://fukushimakayoto.namaste.jp/akiraka/pdf/20201101koukai.pdf>
- ▶ 2020年11月13日 (金) 公開質問状に関する記者会見 (京都教育文化センター)  
 記者会見説明資料  
<http://fukushimakayoto.namaste.jp/akiraka/pdf/20201113setsume.pdf>
- ▶ 2020年12月 1日 (火) 督促状発送
- ▶ 2021年12月17日 (木) 再督促状発送
- ▶ 2021年2月23日 (火・祝) 福島甲状腺がんの真相を明らかにする2・2・3シンポジウム  
 (オンライン開催)  
 開催要項 <http://fukushimakayoto.namaste.jp/akiraka/pdf/20210223kaisai2.pdf>
- ▶ 2021年3月 7日 (日) 「甲状腺被ばく問題連絡会」メーリングリストを開設

## 2 パンフレットの発行

- ▶ 2021年3月31日（水）  
「原発事故がもたらした福島甲状腺がん—その科学的根拠」  
発行（本体価格500円）  
<http://fukushimakayoto.namaste.jp/akiraka/20210331N01.html>
- ・500部印刷発行。書店等への配本150部、会手持ち350部
- ・販売状況は、会手持ち分の販売は約300部、書店等での販売実績もあり。
- ・今後、電子書籍化を行い、ネット上での販売を行っていく。

# 原発事故が もたらした 福島甲状腺がん

## その科学的根拠

福島原発事故による甲状腺被ばくの  
真相を明らかにする会

## 3 検証委員会活動

<http://fukushimakayoto.namaste.jp/akiraka/schedule.html>

- ▶ 2019年12月13日（金）「明らかにする会」を設立し、検証委員会設置する。
- ▶ 2020年
  - ・1月31日（金）、2月28日（金）、3月27日（金）、4月28日（金）、5月29日（金）、  
6月29日（金）、7月31日（金）、8月28日（金）、9月25日（金）、10月31日（金）、  
11月27日（金）、12月25日（金）
- ▶ 2021年
  - ・1月29日（金）、2月13日（金）、3月6日（土）、3月26日（金）

## ●2021年度活動方針（案）

- 1 福島甲状腺がんをめぐる問題について、科学的な検証を継続する  
福島県立医大の報告に加え、国際機関の報告などについても検証していく。
- 2 検証委員会活動の成果について、講演会や学習会を開催する。
- 3 上記1, 2の成果について、冊子にまとめ、広く販売していく
- 4 明らかにする会のウェブサイト、facebook（今後検討）に検証委員会活動の成果を公表する。
- 5 明らかにする会の会員を拡大し、会の財政基盤を確立する。
- 6 会員向けの会報やニュースレターの発行を検討する。
- 7 明らかにする会の活動の現状を踏まえて、会則について検討を行う。
- 8 その他会の目的達成に必要な活動に取り組む。

## ●2020年度決算・2021年度予算（案）

2020年度決算(2019年12月(結成)～2021年3月末)      2021年度予算(2021年4月～2022年3月末)

収入	決算額	備考	予算額	備考
繰越金	0		225,877	
会費	28,000		50,000	会員を募る。50人目標
参加費	0		10,000	講演会などの参加費(オンライン含む)
寄付金	11,210	7/20シンポ残金	30,000	カンパを募る
助成金	220,000	こんどプロジェクト	300,000	こんどプロジェクトから
事業収入	0		120,000	1号パンフ売り上げ(@500+送料)
その他収入	0		1,000	預金利息、その他収入
合計	258,210		736,877	

支出	決算額	備考	予算額	備考
経費	0		40,000	学習会、講演会などの講師謝礼
使用料	5,830	配者会見会場、レンタルサーバー利用料(分担金1,650円)	30,000	会場使用料、レンタルサーバー分担金
需用費	2,269	コピー用紙、封筒代、インク代	5,000	コピー用紙、封筒代、インク代
通信費	15,454	郵送料	40,000	パンフレット郵送料
印刷製本費	9,780	カラーコピー代など。1号パンフ代は2021年度で支出する。	600,000	1号パンフ代(222,840円確定)、2号パンフ(300,000円見込み)、カラーコピー代ほか
役員費	0		20,000	ウェブサイトの更新作業(外部に依頼)
次年度繰越金	225,877		1,877	
合計	258,210	0	736,877	0

当金の結成から2021年3月末までの期間について、金銭出納簿、領収書、預金通帳などの会計書類一式を監査したところ、適正に執行されていることを確認しましたので、ご報告いたします。  
2021年4月16日 会計監査 福島 敦子

## ●2021年度役員体制

\* 役員・検証委員会委員（五十音順、敬称略）

- ▶ 大倉弘之（京都工芸繊維大学名誉教授）
- ▶ 奥森祥陽（京都・市民放射能測定所代表） 事務局長
- ▶ 加藤聡子（独立研究者）
- ▶ 佐藤和利（京都・市民放射能測定所事務局長）
- ▶ 宗川吉汪（日本科学者会議京都支部代表幹事） 代表
- ▶ 徳井雅信（病院レセプトソフトSE（元））
- ▶ 林 衛（富山大学人間発達科学部）
- ▶ 福島敦子（原発賠償京都訴訟原告団共同代表） 会計監査
- ▶ 藤岡 毅（大阪経済法科大学客員教授）
- ▶ 山田耕作（京都大学名誉教授）
- ▶ 山本英彦（医療問題研究会）
- ▶ 渡辺悦司（京都・市民放射能測定所）